

開講年度学期	2026年度前期	授業コード	09040	ナンバリングコード	INF-1
授業名	情報リテラシー基礎				
教員名	内田 奈津子				
履修年次	1	開放			
科目所属	C L A コア科目				
曜日時限	月曜4限	単位数	2単位		
開講校舎	緑園	教室	情報リテラシー教室		
備考	2024年度以降入学者対象科目（学部1年次のみ対象留学生含む編入学生除く）大学が履修登録を行います 副専攻「データサイエンス」修了要件対象科目				

講義題目	
------	--

授業の概要
人間中心社会において、ICTを上手く活用するための基礎知識を、誰もが求められる時代となりました。技術革新とグローバル化の進展により、社会は日々変動しており、将来を予測することは困難です。このような状況においても、対応できる力をつけていく必要があります。本授業では、初等中等教育までの教育で不足する知識を補い、これからの情報化社会で必要となるコンピュータサイエンスの知識(コンピュータの仕組み、ネットワーク、プログラミング、AIなど)を取り上げます。Officeツールについては、操作方法を学ぶのではなく、それらを活用し、課題や目的に応じて適切に活用する力を育成します。

到達目標
情報と情報技術の特性を理解し、適切に活用するための知識と技能を身につける 問題解決・探求における情報を活用する力を育成する

成績評価基準
平常点：講義の内容を理解した上で、レスポンスシートを提出していること。 レポート・課題：講義の内容を理解した上で、レポート・課題に取り組みまともられていること。

授業計画	
第1週	オリエンテーション：情報社会で求められる情報スキル
第2週	インターネットの利用とセキュリティの基本
第3週	コンピュータの仕組み
第4週	コンピュータネットワークの仕組み
第5週	アプリケーションソフト（Word・Excel・PowerPoint）の利用①
第6週	アプリケーションソフト（Word・Excel・PowerPoint）の利用②
第7週	クラウドの利用
第8週	ファイル構造
第9週	社会と情報
第10週	数と文字の表現および音・画像・映像の表現
第11週	プログラミング(制御構造1)
第12週	プログラミング(制御構造2)
第13週	プログラミング(まとめ)
第14週	AIの役割
第15週	まとめ
授業アンケート実施	

教室外（事前・事後）の学習方法
授業で習得したスキルは、繰り返し活用することで身につきます。そのため、各回、簡単な宿題を課します。

テキスト

参考資料（本、Webサイト、その他）

鎌田 高德（著）、鹿野 利春（監修）：高校の情報Iが1冊でしっかりわかる本, かんき出版
中山 心太(著)：高校生だけじゃもったいない 仕事に役立つ新・必修科目「情報I」, PHP研究所 奥村晴彦、佐藤義弘、中野由章（監修）：キーワードで学ぶ最新情報トピックス 2026, 日経BP
ブライアン・カーニハン（著）, 坂村 健、酒匂 寛(翻訳)：教養としてのコンピューターサイエンス講義 今こそ知っておくべき「デジタル世界」の基礎知識, 日経BP

成績評価方法		
（注）出席していれば単位が修得できるものではありません。		出席した上で、次の評価方法・割合に基づき、成績評価されます。
種別	割合（％）	評価方法
筆記試験	0	
レポート試験	50	
音楽実技試験		
平常点評価（授業中に実施するテスト、レポート含む）	50	毎回の授業アンケートや課題提出状況を評価します。
その他	適宜、状況に応じて加点します。	

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

各時間の課題については、翌週の授業内に行う。
個別のフィードバックは、学修支援システムを通じて行う。

履修前提科目、関連科目

その他

指定された「情報リテラシーの基礎」のクラスを履修してください。
大学のパソコンを利用することもできますが、自分のパソコンを持参することをお勧めします。
その際、使用する機種やOSの指定はありません。

実務経験